



(報道関係各位)

令和5年3月10日 発表

【本件に関するお問い合わせ】

☑ HP 公開

川越市立博物館 学芸担当 担当者：川邊

☎049-222-5399 (直通) Fax : 049-222-5396

第49回企画展

「もののふの美—復元大鎧公開—」

原資料をもとに復元された大鎧を展示

大鎧（おおよろい）は、平安時代中期から南北朝時代を中心に用いられた日本の甲冑（かっちゅう）です。大鎧は小札と呼ばれる鉄や革の小さな板を色とりどりの紐で綴り合わせて作られており、その華やかさから後世、武門の象徴として「式正（しきしょう）の鎧」と呼ばれるようになりました。大鎧の復元は、すでに江戸時代から行われており、当時の甲冑師が伝世した大鎧を調査研究し、写を製作することもありました。また、近代以降には、歴史や文化、美術史上、重要な資料である大鎧を多くの人に知っていただき、またその製作技術を伝承するために、博物館などで復元資料が作られるようになりました。

このたびの展覧会では、こうした大鎧の歴史と美しさに魅せられ、その復元に挑んでいる市内在住の寺田勝廣（てらだかつひろ）氏製作の復元大鎧とその工程資料を展示いたします。大鎧の復元に懸ける寺田氏の熱い情熱とともに、鎌倉時代、大鎧を身に着けこの地で活躍した河越氏に思いを馳せていただければ幸いです。

詳細

会期：令和5年3月18日（土）～5月14日（日）

休館日：毎週月曜日、3月24日（金）、4月28日（金）

会場：川越市立博物館 特別展示室

(川越市郭町2-30-1)

入館料：

一般 200円（160円）

大学生・高校生 100円（80円）

中学生以下 無料

※（ ）内は、20名以上の団体料金

